ビブラート

つげ幻象

棚田より影のとびたつ小春かな
遠吠えや冬木は星をもてあまし
ペン立てを窓辺に寄する日短
鍔広のゆく暖冬の埠頭かな
風垣をめぐり濤音被りけり
初日受く鼻腔をひろく解き放ち
川沿ひに暮るる二日や子を送る
夜は雨の匂ひうするる寒さかな
鶏捌く肩へ寒暮のなだれたる
春待つややけにきかせてビブラート